



総会・総代会 ミニ事例集

- § 1. 事前学習会
- § 2. 総会・総代会
- § 3. 総代活動

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です



前橋工科大学生協
総代会学習会

今回の活動テーマは…

総(代)会

総代活動



この記事への質問は、
【宇都木聖哉】
utsugi_si@fc.univcoop.or.jp まで。
どんなことでもお答えします。



あなたの大学生協の活動の「あくついぶ」を執筆してみませんか？
お問い合わせは編集長
【宮田好未】
miyata.knm@fc.univcoop.or.jp



他の記事は、First Classや連合会HPからも見ることができます。

【First Class】
「東京ブロック」⇒
「東京BKからのお知らせ」⇒
「あくついぶ」

【連合会HP】
<http://www.univcoop.or.jp/>
スタッフオンラインページ
User :univcoop
PASS:news



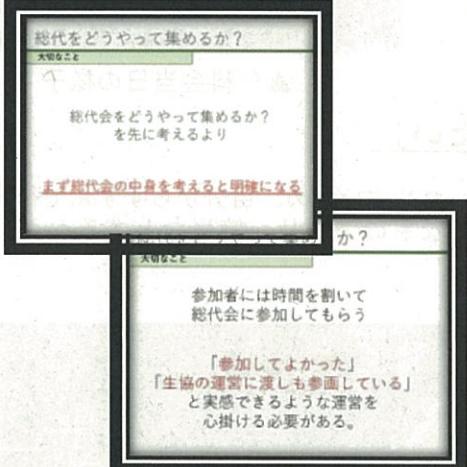
総代参加型を考える

概要・企画背景

前橋工科大学生協では今年度から総代部会が発足しました。昨年度の総代活動がなかなかうまくいかなかったという反省から生まれました。総代会の前に、総代学習会を行いました。主なコンテンツとしては
 ・総代会の基礎知識
 ・これから前工の総代活動を考える
 ということをやっていました。

ポイント1

総代の運営参加を考えている

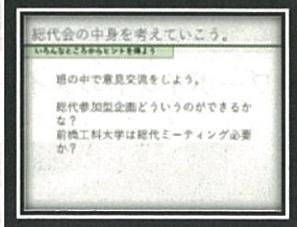


総代会に関して思い浮かぶことといえば、「総代集めが大変」ということです。たしかにその通りなのですが、前工の学習会では、なぜ総代を集めのかを考えていました。総代参加型の総代会や関連する活動を作ることで組合員に総代への魅力を感じてもらおうというような提起がありました。

ただ大変だからがんばろうではなく、魅力を感じて頑張ろうというようにしていました

ポイント2

実際に総代参加型企画を実際に考えた



基礎学習の後に実際に前工学生委員としてなにができるか考えていました。どのような総代参加型企画ができるかを班内で交流しました。

事務局から一言

総代会についてはタスク、大変だけどこなすモノという風潮も少しありますがその中で総代会をやる意味、総代が運営参加する意味を前工学生委員会で考えることができました。

今年度の前工の総代会・総代活動がとても楽しみです！

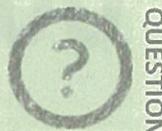
東京ブロック 総(代)会実施に向けて

今回の活動テーマは…

総代活動

総(代)会

総(代)会
特別号



この記事への質問は、

【宮田好未】
miyata.knm@fc.univcoop.or.jp

まで。
どんなことでもお答えします。



あなたの大学生協の活動の「あくついぶ」を執筆してみませんか？

お問い合わせは編集長

【宮田好未】
Miyata.knm@fc.univcoop.or.jp



よりよい総(代)会に向けて、がんばろう！

準備はできる？

1月21日(日)に、東京ブロックではStart Up! 総(代)会が行なわれました。基礎知識の確認や、総(代)会に向けた準備の過程でどこを強化していくべきか話したり、総(代)会に向けた計画立てを行なったりしました！ ご参加いただいた方、ありがとうございます。

さて、自大学ではみなさん、準備はすすんでいるでしょうか？



ポイント1

まずは話し合いの場を設けましょう



学生委員会内をはじめとして、専務や職員ともお話ししましょう！ 総(代)会時期は、専務も議案の作成等でとても忙しくなります。早めに話し合って、どういう総(代)会にしたいのか、みんなで考えられる機会を設けましょう！

ポイント2

総(代)会が終わった後のイメージも！

総代は組合員の代表であり、組合員の意見をもとに大学生協を運営していくための会が総(代)会です。これは、1回終わったから終わり！というわけではありません。総(代)会は組合員が運営に参加するための仕組みのひとつでしかないのです。

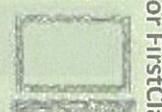
総(代)会以降も、組合員の意見で作られる生協にするにはどうすればよいか、どうアプローチするのかも、一緒に考えておきましょう！



さいごに

よりよい総(代)会運営に向けて、まずは話し合いから始めてみましょう！ 「頑張りたいけどやり方がわからない…」という人は、ぜひ事務局まで声をかけてくださいね。

今後はあくついぶでは、Start Up! 総(代)会で取り上げた事例もピックアップして紹介していきます！ そちらもぜひチェックしてみてください！



他の記事は、First Classや連合会HPからも見ることができます。

【First Class】
「東京ブロック」⇒「東京BKからのお知らせ」⇒「あくついぶ」

【連合会HP】
<http://www.univcoop.or.jp/>
スタッフオンラインページ
User :univcoop
PASS:news





印刷して職員・学生
皆さんでご覧ください！

2018.05.08

Vol.006

北陸エリア
学生事務局
吉田 達也

総代活動の第一歩！ 交流しながら学びの誘導！

今回は富山大学生協の企画「総代宿泊交流会」をご紹介。入学して立候補した総代の人たちが交流しながら、総代会に向けて学習を行いました。

活動概要

日時：4月14日（土）～15日（日）
場所：砺波青少年自然の家
対象：新入生総代、それに準ずる者
内容：
総代どうしが仲良くなるためのレクリエーションや、生協や共済などの学習会



POINT.1



総代自身が主体的に 考え議論するワーク設定！

総代宿泊では、ただただ学習を一方的に聞くのではなく、班内でワークを行い、学習内容を深める取り組みをしていました。例えば、「共済」の学習の時間では、富山大学で実際に起こった事例を見ながら、大学生活にどのようなリスクがあるのかなどを一緒に話し合っていました。

また、**ワーク中心の学習会**ということもあります。参加者一人一人がそれぞれの学習会において、積極的に意見を出し合い、学習の内容を深めていました。



POINT.2

交流を大切に！

この総代宿泊交流会では、新入生総代が選出されてから初めての活動となっており、これから**1年間一緒に活動していく**メンバーと**親睦を深めること**も大事にしています。レクリエーションをこまめに取り入れることで、参加者も親睦を深められていきました。



TOYAMA ISHIKAWA FUKUI SHIGA KYOTO NARA OOSKA HYOGO WAKAYAMA



ご質問や[K's NEWS]で紹介したい活動があれば、右記の連絡先まで是非お願いします！



広報担当 下出 大貴
shimode.ti@fc.univcoop.or.jp

[機関運営]

×

[新学期]



富山大学

総代宿泊交流会

03 大阪樟蔭女子大学生協 総代会の取り組み

活動の教訓ポイント

総代にもっと深く大学生協や総代の役割について知ってほしいという想いで取り組まれた。事前の工夫だけでなく、総代会当日も組合員の特徴をとらえた企画で運営参加を感じることができる工夫がされている。

活動概要

【日時】2018/05/24

【場所】高智館1階 食堂

【対象】総代



▲総代・理事・学生委員の集合写真

【内容】今年は、学生委員会内の学習会や総代向け事前学習会を新たに取り入れました。また総代・理事・オブザーバーを巻き込んだ休憩企画の実施しました。

企画背景

もっと深く、知ってほしい――

総代向けの事前学習を行なったきっかけは、前年度の総代からの「総代会参加したけど、何をしてるか分からなかった…」という声でした。総代会とは総代自身が考えることが必要であるにも関わらず、実際に流れ作業のように議決する姿勢が見受けられ、これでは駄目だと思い、総代会に向け真摯に取り組みました。

アピールポイント

総代と一緒に作り上げました。



▲学生委員会内の学習会

昨年の総代の声を元に実現させた『総代向け事前学習会』を行いました。事前学習をしたことによって、総代会の進行がスムーズになりました。また、総代会の途中には休憩企画として食堂の小鉢メニューを一覧で試食会を行なったのち、実際に食堂のメニューとして提供する予定です。

組合員の反応

素敵なお意見、頂きました！

「難しそうな話だったけど分かりやすかった！」や「総代会では自分の声が直接届けることができると知れた！」という声がありました。また、事前学習会をした結果、さらに総代自身が生協の取り組みを知るきっかけとなりました。

内容① 総代向け事前学習会

総代会までの一週間のお休みのみに総代を集め、まず初めにパワーポイントを使って総代全員へ向けた「総代会って何？」を説明しました。次に当日参加できない総代向けに、「書面議決のための簡単な議案提案」を行いました。総代会の前の一週間を使い、学生委員を除く総代60名(68%)の参加となりました。



▲実際にメニューを考えている様子



▲事前学習会にて、議案提案中

内容② Choice Of Vegetable

総代会当日の休憩企画として、28名の総代や理事の方、オブザーバーの学生委員に食堂の小鉢メニューを考えてもらいました。生協の運営に参加することを身近に感じてもらいたいということと、組合員にもっと野菜を採ってほしいという想いから実現しました。女子大ということもあり、当日は楽しくメニューを考案する様子がみられました。この時に考えてもらつたメニューの試食会を実現させて、総代との関わりを作るきっかけとしたいです。

成果

総代会当日の休憩企画として、総代自身が総代(会)とは何かという事を知る機会になつたと感じました。そのため総代会自体の完成度が上がったように思います。また休憩企画を行なったことで、総代と関わる機会が作り出せたのではないかと思います。

課題

「書面議決で出来るのなら…」と言って、そちらを選んでしまった総代が多いので、総代会の実出席はまだまづ低い教値となつてしましました。総代会と今後関わるような企画を行うのであれば、事後の事も先を見通して考えておくべきだと思います。

取組みを参考にすることをつけること

以前は、実際の総代の声を聞かずに流れ作業のように行なっていた総代会でしたが、今回積極的な姿勢で取り組んだことで、総代会自体が良くなつたと思います。何事も実際の声を聞くくといいう事が大切なんだと学ばせられました。

2019年ロック方針との関係性

ありたい姿①ともにつくる
大学生協の魅力を実感し、運営に主体的に参加・参画することで、よりよい生活をともにつくっていく組合員。



▲議案採決の最中



TEL : 06-6730-6577
E-mail : seikyo@ex.bw.dream.jp

奈良県立大学生協

02

総会（総会前企画・丼ー1グランプリ）

〔事例集〕

活動の教訓ポイント

学生委員会が主体となって、学生自線で、総会について組合員に伝えることを意識した様々な取り組みが行われました。また、自分たちの声を生協で反映でき、自分たちで運営しているということを総会という場で組合員に向けて伝えることができました。

活動概要

【日時】2018/05/22

【場所】奈良県立大学 三号館二階

対象

【内容】総会前企画として食堂内にポスターの掲示、議案の審議、グループ討論、総会後に丼ー1グランプリ（メニューコンテスト）の最終選考と試食会。

企画背景

奈良県立大学生協は総代会ではなく組合員全員が対象の総会を開催しています。生協は組合員みんなのお店で、生協の活動を決める「運営参加の場」として実際には入生に向けたものでなく、という想いで開催しました。そして他にも組合員の方からひとことカードでも声の多かったことについてグループ討論をして、組合員による運営が行われているという点を重視しました。

アピールポイント

組合員に伝える

今回の総会では、事前に県大聲（ひとことカード）でも意見をしたり、食堂や購買などで掲示しました。Twitterで発信をしたり、食堂や購買などで掲示しました。総会は何なのか、総会で決まったこととして、それぞれの議案の説明、さらには2018年度の奈良県立大学生協方針と学生委員会方針や、総会内で行なったグループ討論のまとめを掲載しました。実際に総会に参加できなかつた人に総会の様子を伝えるために作成しました。

組合員の反応

グループ討論

今回の総会では、事前に県大聲（ひとことカード）でも意見を多くつた食堂の営業時間についてのグループ討論を行いました。実際に一組合員の生の声を聞くことができ、その意見を見普段の活動や理事会での議論に活かすことができました。



▲青宣で使用した画像

内容② 丼ー1グランプリ



成果



▲総会前のアイスブレイクの様子

企画としてのこだわり

奈良県立大学生協は総代会ではなく組合員全員が対象の総会を開催しています。生協は組合員みんなのお店で、生協の活動を決める「運営参加の場」として実際には入生に向けたものでなく、という想いで開催しました。そして他にも組合員の方からひとことカードでも声の多かったことについてグループ討論をして、組合員による運営が行われているという点を重視しました。

取組みを参考にする上で気をつけること



▲食堂内に掲示した開催報告



▲グループ討論の様子

総会前企画・情宣



▲総会前企画から総会開始までの時間を食堂で過ごしてもらおうために組合員の方に向けて、職員さんの紹介やちよつきに系の内容でポスターを使用し食堂内で掲示をしました。さらに情報で使用した画像は、学生委員から募集しました。左の画像以外にも応募があり、より多くの組合員の方に、総会に参加してほしいという想いを学生委員総会に表現することができました。

内容①

総会前企画から総会開始までの時間を食堂で過ごしてもらおうために組合員の方に向けて、職員さんの紹介やちよつきに系の内容でポスターを使用し食堂内で掲示をしました。さらに情報で使用した画像は、学生委員から募集しました。左の画像以外にも応募があり、より多くの組合員の方に、総会に参加してほしいという想いを学生委員総会で表現することができます。



▲総選考に残ったメニュー

課題

今年の総会は最終的には成立しましたが、過半数が集まらず、不成立になりました。総会では、組合員の方の実出席が重要となります。次回の総会では、出席できない組合員には、書面議決の呼びかけを強化し、余裕を持って組合員の総会への参加もあり、様々な方に楽しんでいただける企画でした。

取組みを参考にする上で気をつけること

総会を成功させるためには、まず学生委員会で総会や組合員参加についての知識をつける必要があります。実際に春の合宿の段階から、総会についての学習会を行ったり、部会内でも何回も、総会についての説明を行いました。その上で、組合員や特に新入生に向けて総会の魅力を広めました。そしてさらに学生委員会内で組合員参加や総会への想いを1つにすることで、総会前企画やメニューコンテストなどのその他の企画がつながると感じました。

2019年ロック方針との関係性

ありたい姿(1)ともにつくる
大学生協の魅力を実感し、運営に主体的に参加・参画することで、よりよい生活をともにつくっていく組合員。

1. 大学生協の魅力を認め、協同組合の想いに共感する組合員を増やすため、組合員の様々な願いを汲み取り、お店をはじめとした事業や活動に、組合員が参加できるように工夫しましょう。
2. 総代会を輪とした活動や、組織委員会活動をはじめとする組合員会活動をはじめとする組合員主体の自然な活動ができるようになります。
3. 連帯の力を生かし学びあい・高めあうことで、大学生協の魅力をさらに高めましょう。
- また、大学・関係団体・地域そして社会から信頼される生協にしていきましょう。

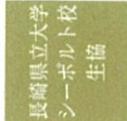
【この事例に関するお問い合わせ先】



奈良県立大学生活協同組合 業務担当理事：石間 E-mail: nishimaa@u-coop.net
TEL: 0742-24-3303

▲

TOYAMA ISHIKAWA FUKUI SHIGA KYOTO NARA OSAKA HYOGO WAKAYAMA



「組合員による運営」を実現する とりくみへの挑戦

長崎県立大学シーソルト校生協では、投票される議案を自分にとって捉えられていなかつた
昨年までの総会を振り返り、本当の意味での「総合賣にむける運営」を実現するために、
どのような準備をし、「どのような懸念で総合賣に対して投票を行つたのか、
今年度の新たな取り組みを中心につづ報告いただきます。

昨年度の総会の総括

今年度の新たな挑戦

一五四〇) 針目は頭頂部に織り重ねて、頭頂部
はだらかにし、だらかにあらわす。頭頂部
のカーブは頭頂部に織り重ねて、頭頂部
はだらかにし、だらかにあらわす。頭頂部
はだらかにし、だらかにあらわす。

細胞の脱離が深まつたのではなくかと考えています。しかし、今回実験でわかったのは一生生れ変わるので、一生生はむちるん上級生にや難儀して伝えられないので、今後の課題であります。

2回目に、出席を許されなかる間に、短時間に類似參加者と重複されながらも養育になつてしまつてしまつたので、彼女は何か、どうやらおじいちゃんの話を聞きたがり立派な娘だ。監督や先生がお世話する中で教訓書や川上文庫の本などを絶えず読書の前に教訓書にてなり、大勢に申請して詳説し、貰ふことを得てからついでにへんこがお手

難しい議案に当事者意識を

さて、今回せらの事業運営会社という非
常に複雑な構架がありまつた。理事会や



04年版の全国会員登録
記念冊子



全国大学生协连发行
2008.12.1.
Univ. coop 1
Vol. 426

事務所にてお会いで説明を受けていたが、総会の席にひそむて四四席に座っていたらしくそれを隠しきる緊張感につづく。その緊張感を強調した手元に手帳の本体それが「私たちは見えない」助力はねばならないが見えない限り見えない。回観する中間層で見る鏡や柳や中間層の人や四四十人で見えてくれるが見えないがそれは業績として見えるから仕事か?これは、それらの隠れ事実をどうにか見て「助力」を合へて四四人以上を引き寄せよう。小回りの隠れ事実の出世が、ひとひらき

「組合員による運営」に
繋がる次の1歩へ

誠意ながら、今年度総会の裏面附は講義などの翻訳でヨロイ一人で大きめ貢献してしまいました。しかし、今回も講義は今後私たちの資金において、組合員が自分ひとりにして資金に用ひる「組合員による運営」に繋がる一歩を踏みだした重要な年会となつたと思います。今後ヨロイ一層組合員一人ひとりが主役となり、もう少し大学生活の実質に向かう、私たち学生委員会を中心となり活動していきます。

(長崎県立大学シーボルト校生協
前学生会員長 石之野 風美)

十文字学園生協

総代会

今回の活動テーマは…

総代活動

総(代)会

連帯

総代会・総代についての認知を高める！

概要・企画背景



十文字学園生協では、5月25日(金)に「総代会」を実施しました。

Start Up! 総代会にて総代会の目標や活動計画を立て、目標を達成するために様々な内容を実施しました。

総代会・総代についての認知を高めるために新入生歓迎会や総代ミーティングを実施するなど、組合員参加を目指した活動になりました。

ポイント1

総代アンケートで声を集める！

総代になってくれた人に総代アンケートを実施し、生協に対する意見出しをしてもらいました！当日までに約30の意見が集まり、総代会内で質問に対する回答を行い、店舗などの改善につなげていくことができました。

集めた声を分析していくと、組合員の特徴や店舗に対する想いが見えてきそうですね！



ポイント2

総代の役割を知ってもらう！



総代とは何かをしっかりと認識せずに総代になっている人も少なくありません。総代の役割や総代会での議案について説明を行う機会を設けて、総代会のことを理解してもらった状態で議決に参加してもらえるような工夫がされていました！

ポイント3

Start Up!総代会の学びを活動に活かす！

Start Up!総代会にて「総代会・総代の認知を高める」という目標を立て、**目標を部会で共有しました。**新入生交流会で新入生に向けて総代の説明をしたり、4月に総代ミーティングを開催し、総代会や総代に対する認知を広める取組を行うことができました。

総代会・総代への認知が進み、総代からの声を集める第一歩になりました。



QUESTION

この記事への質問は、
【杉山圭汰】
sugiyama.kit@fc.univcoop.or.jp
まで。
どんなことでもお答えします。



WRITE

あなたの大学生協の活動の「あくついぶ」を執筆してみませんか？
お問い合わせは編集長
【宮田好未】
Miyata.knm@fc.univcoop.or.jp



HP or FirstClass

他の記事は、First Classや連合会HPからも見ることができます。

【First Class】
「東京ブロック」⇒
「東京BKからのお知らせ」⇒
「あくついぶ」

【連合会HP】
<http://www.univcoop.or.jp/>
スタッフオンラインページ
User :univcoop
PASS:news



跡見学園女子大学生協

総代会

今回の活動テーマは…

総代活動

総(代)会

連帯

組合員の特徴や実態をつかむ！

概要・企画背景



ポイント1

クイズ形式を取り入れた議案提案！

総代会の議案書やダイジェストを事前に総代に配布しています。議案内容をクイズにまとめ、総代が議案内容をわかりやすくなる工夫がされていました。

また当日は議案提案が分かりにくく、内容を理解し切らずに議決に移ってしまうこともあります。要点がまとめられ、理解されやすい提案になっていました！出席した総代からもクイズ形式が楽しかったという感想が出ていました！



ポイント2

組合員の特徴を分析し、活動に繋げる！



担当事務局より

総代会の後半には昼ご飯調査とペンケース調査を実施しました。生協を利用する頻度を調べたり、人気商品を調べたりすることで組合員の声を集められていました！

総代会後に総代の声から人気がある文房具を店舗で棚を作り紹介することで、集めた声を分析し、活動に繋げられました。総代はじめとした組合員に自分たちの声が店舗に反映されることを知つてもらいました。

1月に行われたStart Up!総代会に参加し、今年の総代会にて目標等を明確にすることができていました。昨年度に引き続きペンケース調査を実施し、組合員の特徴を分析することにつながりました。集めた声を店舗の棚作りなどにつなげられていたのがとても素晴らしいですね！組合員にとって身近な店舗づくりにつながりそうです！

執筆担当

杉山圭汰(東京ブロック学生事務局)

執筆協力

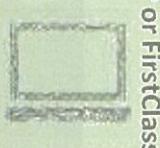
跡見学園女子大学生協



この記事への質問は、
【杉山圭汰】
sugiyama.kit@fc.univcoop.or.jp
まで。
どんなことでもお答えします。



あなたの大学生協の活動の「あくついぶ」を執筆してみませんか？
お問い合わせは編集長
【宮田好未】
Miyata.knm@fc.univcoop.or.jp



他の記事は、First Classや連合会HPからも見ることができます。

【First Class】
「東京ブロック」⇒
「東京BKからのお知らせ」⇒
「あくついぶ」

【連合会HP】
<http://www.univcoop.or.jp/>
スタッフオンリー
ページ
User :univcoop
PASS:news



宇都宮大学生協

新歓企画に意見くれたらまじむ。

今回の活動テーマは…

総代活動

組合員から新歓企画に対する意見をもらいました。

概要・企画背景



宇都宮大学生協では、10月30日に「新歓企画に意見くれたらまじむ。」という企画を開催しました。これから新歓企画を学生委員会が作っていく期間にこれから入るという背景があり、組合員に学生委員会が企画する新歓企画に意見をもらおうと行いました。

ポイント1

企画名のインパクト大！



総代企画は、固いイメージがあるのか参加者が一桁など参加率が悪いという現状がありました。参加率を上げるために対象者を総代だけでなく、組合員にも広げたがなかなか参加率は伸びません。そこで考えたのが企画名にインパクトをつけて話題性を上げることです。あえて、今、女子高生ではやっている言葉を用いました。効果としては、組合員同士の会話のネタになっていました。また、参加者数が20人でした。

ポイント2

学生委員会と一緒につくる企画！



毎回総代企画では、生協の食堂や購買への意見や感想を聞く企画が多くかった。今回は、我々が新歓企画をつくっていく時期なので総代をはじめ組合員に新歓企画について意見を聞きたいと思いました。そのため、今回は一味変えた形式にし、新歓企画に意見をもらう形にしました。

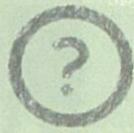
ポイント3

食堂の新メニューのPOPを書きました！



11月から食堂で提供される食堂の新メニューを組合員に試食してもらいPOPを書いてもらいました。参加者を組合員に広げたため総代企画に参加してくれた総代の特典として、組合員は1食しか試食できないのに対して、総代は2食試食できることにしました。また、参加者に試食したメニューのPOPを書いてもらい、メニュー提供時に貼りました。

QUESTION



この記事への質問は、
【宇都木聖哉】
utsugi_si@fc.univcoop.or.jp まで。
どんなことでもお答えします。

WRITE



あなたの大学生協の活動の「あくついぶ」を執筆してみませんか？

お問い合わせは
編集長
【宮田好未】
Miyata_knm@fc.univcoop.or.jp

HP or FirstClass



他の記事は、First Classや連合会HPからも見ることができます。

【First Class】
「東京ブロック」⇒
「東京BKからのお知らせ」⇒
「あくついぶ」

【連合会HP】
<http://www.univcoop.or.jp/>
スタッフオンラインページ
User : univcoop
PASS:news



明治学院大学生協
健康フェスタ

今回の活動テーマは…

総代活動

共済

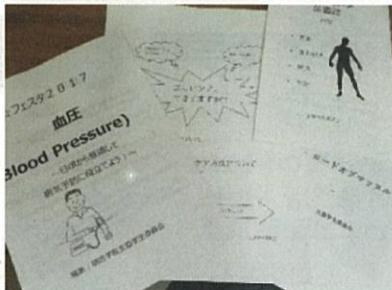
『総代と一緒に』より満足度の高い企画へ！

概要・企画背景



ポイント1

総代と共に考えた企画内容



10月16日に、健康フェスタのブース内容を話し合う総代ミーティングを行いました。配る冊子の内容はどのようなものがよいのか、どうしたら多くの組合員に参加してもらえるのかなど、細かいところまで話し合い、意見を取り入れました。総代と一緒に組合員の意見を話し深め合うことによって、より組合員に寄り添った企画内容を考えることができました。

ポイント2

共済について関心を持つ



明学は共済の認知度が低いことも現状としてあげられています。まずは認知度向上を目標に、給付ボードを設置しました。文字ばかりではなく、スポーツ中の怪我など実際に起こりうる例を写真でわかりやすく伝えました。また、今後の共済活動の参考になるように簡単なシールアンケートも行いました。

参加者の声

参加人数は1日約180人で、参加者からは「たのしかったです。健康目指して頑張ります。」「身体のことが分かり、面白かったです。」など、健康について関心を持ってもらうだけでなく、楽しみながら知識をより深められた企画になりました。

また、アンケートや食生活相談会の様子から、運動部に所属している組合員の食生活など、組合員の現状を新しく知ることができました。



QUESTION

この記事への質問は、
【小山誠也】
koyama_si@fc.univcoop.or.jpまで。
どんなことでもお答えします。



WRITE

あなたの大学生協の活動の「あくついぶ」を執筆してみませんか？

お問い合わせは
編集長
【宮田好未】
Miyata_knm@fc.univcoop.or.jp



HP or FirstClass

他の記事は、First Classや連合会HPからも見ることができます。

【First Class】
「東京ブロック」⇒
「東京BKからのお知らせ」⇒
「あくついぶ」

【連合会HP】
<http://www.univcoop.or.jp/>
スタッフオンラインページ
User : univcoop
PASS : news



横浜市立大学生協

BEER GARDEN 2017

今回の活動テーマは…

組合員の
交流

総代活動

多くの人と繋がる場

『ビアガーデン』

概要・企画背景



ポイント1

総代と委員が一緒に作り上げる！

毎週昼休みに総代ミーティングを行って、実際に販売するフードメニューの案出しやオリジナルカクテルの考案をしたり、縁日ブースの出し物や装飾を作りました。

総代ミーティング以外にも放課後に集まって試作会を行ったり、当日のリハーサルや決起会・打ち上げをするなど、たくさん総代と交流を深めながらビアガーデンを作っていました！



ポイント2

学内だけでなく、地域ともつながる！

学内でのポスター掲示やSNSでの広報のほかにも、「市大夏まつり」という名目で大学の最寄り駅の駅前商店街や周辺の幼稚園や小学校にチラシやポスターを持ち込むことで、学外からも集客を試みました。

昨年度から学外広報を始めましたが、今年は多くの浴衣や甚平を着た子供たちが会場内を走り回っており、運営メンバーは非常に癒されています。かわいい。

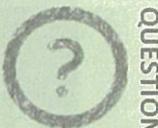


ポイント3

組合員のニーズに応えて例年開催！

前期試験前の一番退屈になりがちな時期に大きなイベントを開催してほしいというニーズに応えて、20年以上開催され続ける市大の恒例行事になっています。

さらに総代と委員や職員だけではなく、学祭実行委員や環境サークルなど多くの学内団体や大学側とも連携することによって、例年大規模な企画を無事に行うことができています。



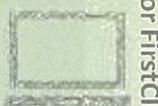
QUESTION

この記事への質問は、
【小山誠也】
koyama_si@fc.univcoop.or.jp まで。
どんなことでもお答えします。



WRITE

あなたの大学生協の活動の「あくついぶ」を執筆してみませんか？
お問い合わせは編集長
【宮田好未】
Miyata.kn@fc.univcoop.or.jp



HP or FirstClass

他の記事は、First Classや連合会HPからも見ることができます。

【First Class】
「東京ブロック」⇒
「東京BKからのお知らせ」⇒
「あくついぶ」

【連合会HP】
<http://www.univcoop.or.jp/>
スタッフオフィスページ
User : univcoop
PASS : news



信州大学生協

AZumino 新入生歓迎号

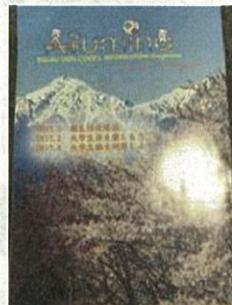
今回の活動テーマは…

新学期

総代活動

上級生の経験を基に新歓冊子作成

概要・企画背景



ポイント1



学生委員の経験を踏まえて冊子作り

AZuminoは季節ごとに発行されていて、新入生歓迎号も毎年発行しています。

学生委員も入学前は読んでいたので、自分たちが入学前に欲しかった情報は何かということを考え、実際に記事にしました。

昨年あった記事の中でも役に立ったと思う情報は残し、こんな情報が欲しかったと言う情報を学生委員の上級生が選定して新入生の不安を取り除くように作成しました。

ポイント2

総代の経験も踏まえて記事選定！



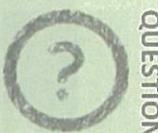
学生委員だけの経験では補えないと考え、部分を補填するために、総代からの意見を取り入れた記事を作成しました。

方法としては、総代にアンケートを配り、書き終わったものを生協事務所に届けてもらうというもので、簡単に行えるようにしました。アンケートの中の「教職課程の記事を詳しく書いてほしい」という意見が多数だったので、それを反映させ実際に記事にしました！

参加者の声

今回は上級生の経験を基に冊子を作ることができているという点が良かったと思います。その中でも、総代から意見をもらい、それらを記事にすることで、上級生の経験を基に新入生の不安解消をすることが出来ていたと思います。

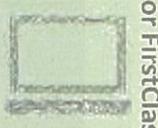
ただ、新入生を迎えるだけでなく、組合員参加という面でも良いポイントであったと思います。



この記事への質問は、
【皆川淳哉】
minagawa.jn@fc.univcoop.or.jp
まで。
どんなことでもお答えします。



あなたの大学生協の活動の「あくついぶ」を執筆してみませんか？
お問い合わせは編集長
【宮田好未】
Miyata.knm@fc.univcoop.or.jp



他の記事は、First Classや連合会HPからも見ることができます。

【First Class】
「東京ブロック」⇒
「東京BKからのお知らせ」⇒
「あくついぶ」

【連合会HP】
<http://www.univcoop.or.jp/>
スタッフオンラインページ
User :univcoop
PASS:news



明治学院生協

MG漫画大賞

今回の活動テーマは…

生協店舗

総代活動

好きな漫画はなんですか？



ポイント1



ポイント2



担当事務局より

この企画の推しポイントは以下の二つです。

・アンケートを有効活用している

→組合員の声から漫画に注目したり、総代ミーティングの時期を早めたりしました！

・様々な組合員を巻き込み企画を作っている

→総代さんと集約する部門を決め、組合員からの投票で店頭に並べる漫画を決め、職員さんと話し合い棚づくりを行う、多くの組合員を巻き込み楽しく活動をしていました！

QUESTION



この記事への質問は、
【小山誠也】
koyama_si@fc.univcoop.or.jp まで。
どんなことでもお答えします。

WRITE



あなたの大学生協の活動の「あくついぶ」を執筆してみませんか？
お問い合わせは編集長
【宮田好未】
Miyata_kn@fc.univcoop.or.jp

HP or FirstClass



他の記事は、First Classや連合会HPからも見ることができます。

【First Class】
「東京ブロック」⇒「東京BKからのお知らせ」⇒「あくついぶ」

【連合会HP】
<http://www.univcoop.or.jp/>
スタッフオンラインページ
User : univcoop
PASS:news



横浜市立大学生協

BEER GARDEN 2018

今回の活動テーマは…

組合員の
交流

総代活動

多くの人の想いからなる『ビアガーデン』

概要・企画背景

横浜市立大学生協では、7月3日・7月6日に市大の夏祭り・ビアガーデンを開催しました。

「組合員への還元活動」をテーマに4月から毎週総代ミーティングを行って意見を募り、オリジナルメニューの考案や装飾づくりを進みました。

当日は、学内団体によるパフォーマンスやミス・ミスタークンのお披露目会、平井堅さんに似ている度合いを競う「平井コン」などが開催され、学生や職員、外部の人が多く集まり大盛況となりました！

ちなみに、アルコール購入時には毎回学生証を見せるなどで年齢確認を行っています。



ポイント1



総代と委員が一緒に作り上げる！

毎週昼休みに総代ミーティングを行い、実際に販売するフードメニュー やオリジナルカクテルを考案したり、縁日ブースの出し物や装飾を作りました。総代ミーティング以外にも放課後に集まって試作会を行ったり、当日のリハーサルや決起会・打ち上げをするなど総代とたくさん交流を深めながらビアガーデンを作っていました！

ポイント2



ニーズに応え、地域ともつながる！

SNSや学内での掲示以外にも、最寄駅前の商店街や幼稚園、小学校にチラシやポスターを持ち込むことで学外からも多くの参加者を募っていました！ 小さい子たちも楽しめるようにソフトドリンクはもちろんのこと、カタヌキやお絵かきせんべいなどの縁日も開催されています！

また、前期試験前の鬱憤がたまつた時期に大きなイベントを開催してほしいというニーズに応え、20年以上開催されている市大の恒例行事となっています。

総代、委員、職員だけでなく学祭実行委員や環境サークルとも連携しています！

担当事務局より

毎年恒例の企画ですが、いいところは引き継ぎつつ、チャレンジの多い企画でした。ただ楽しいだけでなく、環境団体と協力してリ・リパックを皿として使い少しでも環境に意識を向ける取り組みを行っていました。また今年新たにイベントを開催したり、去年の反省を活かし、ドリンクの売り場を変更したりしていました。アンケートや組合員の声をもとに、少しでも参加者や学生委員、総代が楽しみ、気持ちよくビアガーデンが行えるように様々な工夫がなされており、参加者はみんな楽しそうにお祭りを謳歌していました！



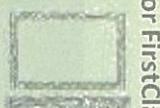
この記事への質問は、

【小山誠也】
koyama.sii@fc.univcoop.or.jp まで。
どんなことでもお答えします。



あなたの大学生協の活動の「あくついぶ」を執筆してみませんか？

お問い合わせは編集長
【宮田好未】
Miyata.knm@fc.univcoop.or.jp



他の記事は、First Classや連合会HPからも見ることができます。

【First Class】
「東京ブロック」⇒「東京BKからのお知らせ」⇒「あくついぶ」

【連合会HP】
<http://www.univcoop.or.jp/>
スタッフオンラインページ
User :univcoop
PASS:news





【発行元】

全国大学生協連合会

東北ブロック

学生委員長 渡邊聰



2018.02.08

vol. 02

今回のテーマは「総代×健康安全×組合員交流」！

弘前大学生協学生委員会 【総代企画「運動会」】

今回は弘前大で行われた総代企画「運動会」について取り上げます！

活動概要

11月23日(木・祝)、青森県立武道館で総代企画「運動会」を行いました！弘前大では、総代活動の活発化と学生委員会・職員・総代の3者連携の環境づくりを目的とした「総代の集会」というものを定期的に開いています。総代企画は、この集会の中で時間をかけて作り上げていきました。

Point 1

総代や組合員と協力して ゼロから作り上げた企画

この企画は、総代自身の意見が反映されていること、組合員を巻き込んだ取り組みであることがポイントです！総代企画をいつやるのか、具体的に何をやるのか、運動会で何の競技をやるのか、などは総代の皆さんに決めてもらいました。また、運動会の競技を組合員の投票形式で決めたり、総代と協力して参加者の募集や当日の運営を行ったりと、あらゆる場面で協力して取り組む姿勢が見られました☆



Point 2

一般的なスポーツだけじゃない ユニークなものも！

今回の運動会ではバレー、ドッジボール、シーケンスリレーの3つの競技を行いました。特に、ボールを当てた人は必ずクイズに答えるドッジボールクイズは非常に盛り上がり、参加者の評判も非常によかったです♪運動の得意不得意に関わらず、みんなで楽しく取り組めた運動会でした！



広がれ！総代活動の輪○
運動会をきっかけに交流が生まれる

伸びしろPoint

より総代の自主性も向上させられると！○

弘前大の総代課題は総代が自主的に活動を行えるようになることを最終的な目標としているので、といったアプローチもできればますます活動が発展すると思います！

執筆担当：石戸谷ななみ（東北ブロック学生事務局） 協力：弘前大学生協

この事例に関する質問等は東北ブロック【石戸谷ななみ】ishidoya.nn@fc.univcoop.or.jpまでお問い合わせください。

みちのく通信で紹介したい活動があれば、
右記の連絡先まで是非お願いします！！



みちのく編集長 佐々木麻美
[sasaki.mm@fc.univcoop.or.jp]

お茶の水女子大学生協

総代選出の取り組み、年間の総代活動準備

今回の活動テーマは…

総代活動

総(代)会

広報

総代選出の工夫と年間の総代活動の準備中！

概要・企画背景

総代とは…？

→生協にとっての最高議決機関(株式会社でいう株主総会のようなもの)
総代とは…？

→組合員の代表として総代会に出席し、組合員の意見を生協に伝える係
～やつてもらいたいこと～

生協への意見を伝えること、生協からの情報を拡散すること

具体的には…

- ・総代会(5/18)への参加(一番大事なお仕事です)
- ・意見交流会、試食会などのイベントへの参加
- ・学生委員の企画に参加(参加者として)
- ・購買・食堂からのお知らせをSNSで拡散
- ・アンケートの協力・拡散
- ・オープンキャンパスなどでの相談員

お茶の水女子大学生協では、総代選出の取り組みを行っています。

2018年1月21日(日)に行われたStart Up!総(代)会2018に専務と学生委員が一緒に参加しました。当日の学習を受けて、「組合員さんの意見を聞く機会が少ないと感じたから、総(代)会前後のあつまりに最も力を入れよう」と課題意識を持っていました。また、当日作成した計画を元に、総代選出の取り組み、年間を通して総代とどのような接点を持つかについて話し合いが行われています。

ポイント1

総代と一緒に何をするかわかりやすい！

「総代とは、どのような存在なのか」「そもそも総代会とは何なのか」だけでなく、「総代になつたら、1年間で具体的に何ができるのか」についてHPや学科オリエンテーションで宣伝しています。また、組合員・新入生に向けた広報だけでなく、総代選出用紙を書いた組合員へアプローチも行っています。LINE@を用いて、総代と絶やさず連絡をとれるようにしています。

ポイント2

年間を通じたつながりづくり！

②7月中旬・後期以降

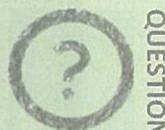
7月中旬のオープンキャンパスで受験生相談員として受験生の質問に答えてもらいます。後期以降も同様に、徹音祭(11月予定)や、入学準備相談会(3月予定)などで相談員として活動してもらいます。
また、後期に1.2回、購買の新商品を決めるための試食会を行う予定です！

伝えることができているので、組合員・新入生にわかりやすい内容になっています。

事務局から

「総代になつたら、1年間で何をするのか」がわかりやすく伝えられているチラシになっています！情報宣伝だけでなく、「年間を通じて総代と一緒に何をしていくのか」を考え、組合員に「総代になることの魅力」を考え、伝えることができるようになっていると思います。新入生の約9割が参加した友達企画で、総代の説明を行いました。その結果、約40名が1年生から総代になりました。4月26日には、総代のつながりづくりと話し合うことを目的として総代同士の交流企画を行います。総代選出中、総代選出用紙に記入した組合員に対する情報宣伝のために添付したチラシをぜひ参考にしてください。

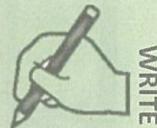
Start Up!総(代)会で考えた計画をもとに、年間を通じてどのような総代との接点を持つか計画しています。総代選出の際にも、年間でどのようなことをするのか



この記事への質問は、

【佐伯大樹】
saeki.di@fc.univcoop.or.jpまで。

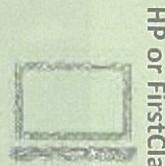
どんなことでもお答えします。



あなたの大学生協の活動の「あくついぶ」を執筆してみませんか？

お問い合わせは編集長

【宮田好未】
Miyata.knm@fc.univcoop.or.jp



他の記事は、First Classや連合会HPからも見ることができます。

【First Class】
「東京ブロック」⇒
「東京BKからのお知らせ」⇒
「あくついぶ」

【連合会HP】
<http://www.univcoop.or.jp/>
スタッフオンラインページ

User : univcoop
PASS : news



お茶の水女子大学生協

総代会・総代活動

取り組みの ポイント

総代としての自覚を持って 参加できる仕組みづくり

方針との関連

✓ 活動方針4

「協同組合の理念や魅力を確認し、体現できる組織と人づくりを行いましょう」
「総代会だけに参加する総代」から「自身の役割を自覚を持って積極的に生協に参加する総代」を目指して行われたこの取り組みは、組合員の声と参加を大切にして運営されている大学生協の組織づくりへと繋がるきっかけとなりました。

●Start Up! 総(代)会に参加して気づいた「総代の役割」

お茶の水女子大学生協では、今年度から「年間を通した総代活動」を意識して取り組んでいます。そのきっかけとなったのが、1月に開催された東京ブロック主催「Start Up!総(代)会 2018」への参加です。

「Start Up!総(代)会 2018」では、総(代)会当日だけでなく、総(代)会前後や年間を通して総代と生協が関わり持てるかを扱ったセミナーです。このセミナーに学生と専務とで参加することで、総代が役割を理解しないまま選出されてしまっていることや、総代が総代会に出席するだけで総代会後に総代との繋がりがない状態であることなど、お茶の水女子大学生協の総代会・総代活動の実態を改めて見直すことができました。そこで、組合員の代表である総代が生協により活発に参加することでお茶の水女子大学生協らしくなるためにも「役割を理解して総代になってほしい」「総代とのつながりを強化したい」と考えました。そして、セミナーを終えた1月から計画を立て、総代会前の新学期から総代へのアプローチを行いました。

●新学期・総代会前における総代へのアプローチ

「役割を理解して総代になってほしい」「総代とのつながりを強化したい」ことから、新学期では、大学のオリエンテーション前に生協の仕組みや総代の説明をしたり、入学者の8割以上が参加した入学前の「おともだち企画」で総代の説明を行ったりしました。

これまでには渋々総代になったり、総代がどういうものか理解せずに引き受けたりする人もいたため、「総代会とは」「総代とは」「やってもらいたいこと」などを載せたチラシを配布しました。チラシは明るい雰囲気で、総代の説明がシンプルで分かりやすいものになるように作成しました。また、総代になることでどんなメリットがあるのかを考えるようにしました。学生委員会が運営するブログでもチラシを用いて総代募集を呼びかけました。

総代会前には、総代の交流と試食会を兼ねた意見交流会を開催しました。当日は生協の商品に意見を出してもらしながら、学科を超えた交流をしました。「購買にある電子レンジの使い方が分からない」「食堂が混みすぎて席の確保が難しい」などの意見が総代から出ました。参加した総代からは、「直接生協に意見が言って良かった」「他学科の総代との交流は楽しかった」「知り合いができる良かった」などの反応がありました。また交流会を作る中で、総代活動に対する考え方を学生委員と職員とで深めることもできました。

新入生の皆さんへ

総代さん 大募集!

総代会とは...?

→生協にとっての最高議決機関(株式会社でいう株主総会のようなもの)

総代とは...?

→組合員の代表として総代会に出席し、組合員の意見を生協に伝える係

~やってもらいたいこと~

生協への意見を伝えること、生協からの情報を拡散すること。

具体的には...

- ・総代会(5/18)への参加(一番大事なお仕事です)
- ・意見交流会、試食会などのイベントへの参加
- ・学生委員の企画に参加(参加者として)
- ・購買・食堂からのお知らせをSNSで拡散
- ・アンケートの協力・拡散
- ・オープンキャンパスなどの相談員

~年間予定~(参加は全て任意です)

4/26(木)[屋休み] 意見交流会

5/18(金)[5限後] 総代会(その後懇親会)

7月中旬 オープンキャンパスでの受験生相談員

後期以降 試食会(12回開催予定)

入学準備相談会などの相談員

→それぞれの詳細は次ページをご覧ください！



総代会の様子



懇親会の様子

▲総代募集チラシ

●議案書ダイジェストの工夫

お茶の水女子大学消費生活協同組合 2018年度総代会議案書ダイジェスト

第1号議案（議案書p.1）

2017年度事業報告書及び決算関係書類承認の件

つまり

生協は、昨年度どんな活動をしたのか、
損益・財務はどうだったのか。

○まずは2017年度活動報告

利用状況の前年度比は全体的にあまり良くなかったです…

【購買】

【食堂】

【リモーネ】



生協の事業への理解を総代にしてもらうために、議案書ダイジェストを分かりやすく作りました。議案書ダイジェストは、他大学の事例をもとに学生委員と専務で内容を確認しながら作成しました。これも「Start Up!総(代)会2018」に参加したことがきっかけです。議案書ダイジェストに対する反応も、総代からは好評でした。

事業経営的には厳しい面はありますが、
学生委員会はとっても元気に活動しています！

- 入学準備相談会・お友達企画・食生活相談会・七夕企画などの開催
- 横断幕・看板の作成
- 共済給付ボードの作成
- 部会や試食会の実施
- セミナー参加
- 頑張った合宿(春期・夏期)

ツイッターでお茶大生活に役立つ情報をつぶやいています。
ぜひチェックしてみてください！

<お茶大生協ツイッター> @ocha_coop



1

○続いて2017年度事業の経過とその成果 ポイントまとめ

供給高 =一般的に言う売上高(利用高)

今年度は**約4億5151万円**で、前年度より増えました！

経常剰余金 =供給高-(仕入れ代+人件費+物件費など)

残念ながら**約932万円の赤字**です…

ただ、これで終わりではありません！

特別利益 =通常の活動以外でその年度だけ発生する利益

例えば、

【補助金収入】少ない学生数で運営しているので、食堂の赤字分を大学が(一部または全額)負担している。

【債務整理益】在学年限を過ぎて一定期間経っても返還請求のない出資金は、一旦生協の利益としてもよいという決まり事がある。

などが挙げられます。

当期末処理損失金 =経常剰余金+特別利益

これが今年度のお茶大生協の最終的な決算にあたります。

残念ながら**約626万円の赤字**です…

～2017年度の生協の経営状況について～

2017年度は旅行やパソコン関係の売上が増えたので、供給が前年より増えました！ですが、利用者数は前年より年間3万人減少しており、利益率の高い食堂や食品の利用が少なかったです…。その理由としては、図書館の改修工事があったので、学生さんがあまり大学に長時間いなかつたことが考えられます。

このように経営が悪い中、生協が運営できているのは、皆さんの出資金があり、そして皆さんに生協を日々利用していただいているからです！

さらなる改善のために、これからも生協をよろしくお願いします！

●総代に関わってもらうことで広がる可能性

「意見交流会」は初めての取り組みであり、課題はありましたが、学生委員会だけでは不足する部分も、総代と協力することで学生委員会活動の広がりにつながりました。オープンキャンパスや入学準備相談会などで、総代に活動に参加してもらうという選択肢が増えました。また、新入生向けの冊子に掲載する情報など、総代に協力してもらうことで集まる情報の量や種類を増やすことができました。

今後は、集めた意見をどうしていくかということ、日常的な総代との関わりを継続して行うことで上級生の総代選出を安定させるということを強めていきたいと考えています。

跡見学園女子大学生協 棚づくり

今回の活動テーマは…

生協店舗

総代活動

学びと
成長

総代との協力や自身の経験を基にした棚づくり！

概要・企画背景

跡見学園女子大学生協では、生協店舗にて2019年1月に棚づくりを行いました！「自分の好きなものについて取り上げた棚を一つ作ろう」と学生委員と専務で話し合って決めたということで、**総代と協力したり学生委員自身の経験などを基にして個性のある棚を作ること**ができました！

ポイント1

総代と協力して、オススメの本棚作り！



この棚を担当したのは一年生の学生委員です！オススメの本棚を作ろうとした際、担当の学生委員が好きな本だけだと数が少ないと感じ、より多くの組合員の声を基にするため総代にアンケートをとって総代オススメの本も一緒に並べてみることに。

総代の意見を取り入れた本棚になっており、様々なジャンルの本が揃うことにより多くの組合員に本棚を見てもらえることが期待できますね！

ポイント2

自身の経験を基にした本棚作り！



この棚を担当したのは海外に行った経験がある学生委員です！**自分の海外での経験を伝えたい**ということで「留学の棚」を作成したそうです。

グローバル化が進むこの時代。留学する大学生が増える中、留学したいけど何をすれば良いかわからない組合員も多くいると思います。**「生協店舗」という組合員にとって身近な場所**でわかりやすく留学について説明できており、多くの組合員の役に立ったことだと思います！

事務局より

学生の読書時間の減少や留学する学生が増加する中、組合員が本に触れたり留学について知るきっかけを提供できたのではないかと思います！これからも是非続けてみてください！



QUESTION

この記事への質問は、
【小林 伊吹】
kobayashi_ib@fc.univcoop.or.jp
まで。
どんなことでもお答えします。



WRITE

あなたの大学生協の活動の「あくついぶ」を執筆してみませんか？

お問い合わせは
編集長
【会田亮平】
aita.rh@fc.uni
vcoop.or.jp



HP or FirstClass

他の記事は、First Classや連合会・ブロックHPからも見ることができます。

【First Class】
「東京ブロック」⇒
「東京BKからのお知らせ」⇒
「あくついぶ」

【連合会HP】
<http://www.univcoop.or.jp/>
スタッフオンラインページ



User :univcoop
PASS:news



<http://www.nf-uca-tokyo.jp>

Univ-Coop Tohoku Block News
"Michi-no-Oku"

【発行元】

全国大学生協連合会

東北ブロック

学生委員長 渡邊聰



2018.02.08

vol. 03

今回のテーマは「総代・機関運営」!!!

宮城教育大学生協学生委員会 【総代セッション】

プリントアウトして
生協職員・学生委員など
皆さんでご覧ください！

活動概要

宮城教育大学生協学生委員会では、月に一度「総代セッション」を開催しています！

毎月第2水曜日の昼休みに総代と学生委員が集まり、生協の運営に関する意見聞きや活動報告をする場です。内容は回によって様々ですが、店舗の運営や学生委員会活動に関する意見交換や議論、学生委員会企画のお知らせ、企画お手伝い募集の呼びかけなどを行なっています。



Point 1

気軽に参加できる工夫 短時間かつ簡単な内容で開催

この総代セッションを開催しているのは、講義の合間の「お昼休み」です！放課後だとサークルやアルバイトもあって参加しにくい総代も、昼休みならば昼食を取りながらでも参加することもできます。

また、1時間の昼休みのうち使えるのは40分程度しかないため、時間の使い方も工夫しなければなりません。テーマを絞った意見聞きでは組合員の生の声を集めたり、活動報告やお知らせでは今後の学生委員会企画への参加を促したり、この総代セッションを活用して別の企画づくりへつなげるようにしています。

Point 2

定期的な積み重ねが大切 年間を通した総代活動に

「毎月第2水曜日」というところにも注目です！定期的に総代に集まってもらうことで、毎回40分程度のミーティングも積み重ねにより大きな効果が生まれます！

もちろんただ集まるだけではなく、ここで出た意見や要望は組合員の声としてきちんと受け止め、活動や事業に反映させることは忘れてはなりません。そういった活動の積み重ねが、総代と学生委員と生協との関係づくりにつながり、多くの組合員を巻き込んだ活動へつながっていくと思います。

定期的な顔合わせの積み重ねが、
総代との関係づくり・運営参加の力に

執筆担当：小野寛成（東北ブロック学生事務局） 協力：宮城教育大学生協

この事例に関する質問等は東北ブロック【小野寛成】ono.kn@fc.univcoop.or.jpまでお問い合わせください。

みちのく通信で紹介したい活動があれば、
右記の連絡先まで是非お願いします！！



みちのく編集長 佐々木麻美
sasaki.mm@fc.univcoop.or.jp



東北ブロック 活動だより みちのく通信

Univ-Coop Tohoku Block News
"Michi-no-Oku"

【発行元】
全国大学生協連合会
東北ブロック
学生委員長 渡邊聰



今回のテーマは「総代×運営参加」！！！

岩手大学生協学生委員会 【お茶漬け企画】

岩手大学では総代会で総代から意見を集約するグループワークの時間を設けています。今回はそこで集約した意見から取り組みが生まれた例を紹介します。

活動概要

総代会の中で「食堂で出食したいお茶漬けの具はなんですか?」というテーマで討論してもらい、そこで意見が多くつたものを、後日食堂で投票企画を行い、食堂を利用している組合員が自分の好みの具の組み合わせに投票して、1位と2位になったものを出食するという企画でした。

Point1 会員生協の現状に合わせて

今回の企画は岩手大学生協の新学期以降、特に後期になると朝食の利用率が徐々に低くなるという現状から、組合員に「朝食をしっかり食べてほしい」「お茶漬けならみんな食べてくれるだろう」という想いから総代会を中心とした、今回の企画づくりが進みました。学生と職員が綿密に打ち合わせをして、総代会での試食をしながらの討論や、今回の投票企画と出食にまで至りました。



Point2 投票によって決めるNO.1お茶漬け

ここ数年の総代会では、総代同士の討論の時間に話したことが、取り組みにつながるようなことはありませんでしたが、今年度は討論で決まったことから、実際に食堂を利用している組合員が、食堂に声を届けることができるよう、好みの具に投票する企画にしました。期間中は605票の投票があり、多くの組合員の参加によって決まった上位2つが出食されることになりました。

担当者からの一言

想定以上の組合員が投票してくれたこと、たくさんの組合員がお茶漬けを食べてくれていたこと、とても嬉しかったです。
これからもがんばります！！！！



**総代から集めた声
それを組合員みんなで形にする。**

執筆担当：白尾京平（東北ブロック学生事務局） 協力：岩手大学生協

この事例に関する質問等は執筆担当または東北ブロック【足立麻季】adachi.mk@fc.univcoop.or.jpまでお問い合わせください。

みちのく通信で紹介したい活動があれば、
右記の連絡先まで是非お願いします！！



みちのく編集長 佐々木麻美
[sasaki.mm@fc.univcoop.or.jp]

組合員の声実現企画-総代とともに-

取り組みの
ポイント

総代が主体的に生協の活動に
参加できるような工夫

方針との関連

✓ 活動方針 4

「協同組合の理念や魅力を確認し、体現できる組織と人づくりを行いましょう」
組合員から声から集めた声を総代の中で具体化し、生協店舗を通して実現する一連の
流れが確立委されている点

●きっかけ

学生委員会の活動が安定してき、今後の組合員活動の広がりを意識し、去年から総代活動に力を入れていた。去年は「学生委員会が作った活動に総代が参加する」といった形の総代活動であったため、総代にとって受け身の活動になってしまったということが問題意識として生まれた。改善のために、今年は総代が主体的に、学生委員会と協同して活動を行っていくという点を踏まえ、春合宿で学生委員会の目標・方針を決定し、まずは学生委員会の中で総代活動の捉え方を変えといった。

●企画実施の上で大事にしたこと・企画の流れ

昨年度も同様の企画を行っていましたが、「なぜこの活動を行うのか」という視点を大切にし、「総代に自分たちの声が生協に反映されていることを実感してもらうこと」「そしてさらなる総代活動へのきっかけとすること」を目指して今年も企画を行うことを決めました。

合わせて「広く組合員の声が反映させる」ことを重視しました。その上で考えた流れが次の通りです。

①学生委員が組合員へアンケート調査を実施し、要望を集める

—約300人から得られた回答を5つの分類に整理し総代で議論しやすいように調整

②アンケート結果をもとに組合員の代表である総代が実現する方法を話し合い決める

—総代会出席者を5つのグループにわけテーマごとに実現方法について話し合い発表

③生協の購買。食堂などで実現

—総代会後の懇親会で生協の購買・食堂店長から総代でまとめた意見に対してコメント

④総代会後、順次購買、食堂で声の実現

—職員で検討し可能なものの・可能な方法で実現

●当日の様子

60人の総代を8つのグループにわけ、グループに学生委員、生協職員を加えて活発な議論が行われました。事前に学生委員会で話をする内容を整理していたこと、ファシリテート役で各班に学生委員が入ることが総代の主体的な発言に繋がりました。テーマと主な意見をまとめています。

生協店舗混雑緩和（購買）	生協店舗混雑緩和（食堂）
<p>＜主な意見＞</p> <ul style="list-style-type: none">・一方通行のゾーンをつくる・内製丼のメニューの充実させる・ピークを分散させる工夫	<p>＜主な意見＞</p> <ul style="list-style-type: none">・お盆とスプーン・はしなどと一緒に取れるようにする（片方のみ）・IC専用レジ1つで2レーン分まかなう
食堂利用の際に栄養面を気にかけてもらう方法	購買の改装において強化してほしいジャンル
<p>＜主な意見＞</p> <ul style="list-style-type: none">・ラーメンの上に野菜をのせる・野菜ジュース（紫色）を販売・和食メニュー出食・地産地消メニュー出食	<p>＜主な意見＞</p> <ul style="list-style-type: none">・サイズの小さいドリンクの販売・バランスの取れる食事の提案・内製丼のバリエーション増加・スポーツドリンクや大容量の飲み物の種類増加
ICカードの利用向上	
<p>＜主な工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none">・チャージ機の増加・Tuoカードの申込者を増やす	

組合員からの要望をどうしたら実現できるのか、総代と考えることで組合員の要望をいくつか実現することができます。組合員からの要望で生協が変わることを実感してもらえたり、総代に自分たちが生協の運営にどのように関わっているのか実感を持ってもらったりすることに繋がりました。

●その後の取り組み

名城大学生協では組合員からの声を大事に、取り組みを進めています。組合員から学生委員会でやってほしい取り組みについて聞き取りをして、要望の多かった防災企画を計画したり、学生委員会だけでなく、総代からも活動が広がるように総代MTも継続的に実施をしたりしています。うまくいっていることばかりではありませんが、これからも組合員の声と参加で名城大学生協が盛り上がるよう取り組みを進めて行きたいと考えています。



東京大学生協 増田 和也

KAZUYA MASUDA

今回は「生協から大学に働きかけながらも、大学の運営としてコラボレーションが行われ、生協が運営者として改修を行うことができた中央食堂のとりくみ」で、通常総代会において、規約改正ビジョン策定の議案に対して出された修正動議を受け、後日臨時総代会を開催した東京大学生協の増田専務理事に登場していただきました。全国大学生協連の母田専務理事より、インタビューをさせていただき、中央食堂運営改修までにいたったボイント、臨時総代会開催までの小委員会の議論や専務として感じたことなどを伺いました。

(インタビュアー 全国大学生協連 母田伸一専務理事)

新学期活動を柱に累積欠損から脱却
本気の熱意、みんなの団結で克ち取った中央食堂
修正動議を出した学生と一緒に臨時総代会まで小委員会で議論
専務＝生協という感覚、「身内の生協」から脱却する体験

大学の現状から

毎田 はじめに東京大学の現状をうつ紹介下さい。

増田 2017年、東京大学は創立140周年を迎えて、五神綱長のもとで三つの大きな事業を行なっています。一つは図書館の建設の継続で、新しくは中央食堂と山上会館のリニューアルです。

また館長の行動指針としてビジョン2020が出ています。その一つが卓越性で、エリート集団の育成です。優秀な

学生を東大でさらに教育し、卓越性に磨きをかけることです。

もう一つは多様性です。2015年の入学式で、綱長が「卵食を食べよう」と新入生に訴えて、それが開場での朝食キャンペーンにつながり、総合経費の半額補助で3週間行いました。その後同年9月から開場で継続し、運動会からも新たに協賛を得ています。

また女子学生支援の大きな目玉として、毎年の女子学生が東大に入学しやすくなるために、家賃補助制度が開始されました。生協が紹介する形で、100室を準備しました。このような形で大学との協力も広がり始めています。

新学期を運営改善の柱に

毎田 経営状況はいかがですか？

増田 学内の附帯工事の影響もあり、前任前年の14年単年で6300万円の赤字、累積赤字1億3千万円を引き継ぎましたが、17年度で解消し、累積で2千万円黒字になりました。17年決算は純益高額2千万円、増収増益で終わることができました。

東京大学は相当なアシンドですが、東大学生と話してみると他の大学生とあまり変わらないので、他の生協でやっていることを私が赴任前にやっていたことを東大でもやってみよう、新学期活動を一つの柱に貫って花開いたのです。

パソコンも15年度530台、16年度830台、17年度は1200台まで到達しました。提案機種も東大の環境に合わせてwindowsからMacに変更。そのように事業の柱を新学期に集中させました。

また4つの考え方を中心に進めています。まず、監査の実現、一言カードに直結に取り組もうといつりじや、一言カードを胸牌をのぞくすべての食卓に置きました。二つめはコストを考えて、

「univ. coop Vol. 445」
2018.10.1
全国大学生協連

